



発行所 愛知県山岳連盟
 発行人 安藤 武典
 編集人 中平等 新一
 名古屋市天白区中平3-1902
 TEL&FAX 052-802-8062

◇ 3月4日(土) 愛知山岳マラソン大会(猿投山) <http://www.geocities.co.jp/Athlete/1653/>



迎春

年頭に当りて

仲間意識を拡げ岳連の強化!

会長 安藤 武典

明けましておめでとうございます。希望に満ちた明るいお正月をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。

昨年は山岳関係者の我々にとつて大きな出来事がありました。まず、国民の祝日として、山の日が施行され、登山というものの、山岳というものの存在が改めて国民に示されました。また、スポーツクライミングが2020東京オリンピックの競技種目に決まりました。2026年にアジア大会が愛知県で実施されることになりました。山登りやクライミングを個人の趣味として楽しむばかりでなく、好むと好まざるにかかわらずこれらの潮流の中に漕ぎ出していくかなくてはなりません。せっかくなら岳連の活性化のための好機ととらえ、前向きに関わっていかなくてはなりません。

愛知岳連は今以上に組織力を強化していく必要があります。それには会員間のコミュニケーションを高め、共に活動する機会を増やすことだと思います。顔をあわせ一緒に行動することで、意見を交えることで、コミュニケーションが生まれ、仲間意識が芽生えると思います。仲間意識の拡幅は、岳連の強化、楽しい岳連にもつながる一つの方法ではないかと思っております。

皆さんにお願いです。ぜひ岳連行事に参加し、そして事業運営に関わってください。今、登山やクライミングに関わる若い人たちも増えていきます。高体連登山部のメンバーが増え大会運営も大変です。理事会でもお願いしましたが高校生の大会運営のお手伝いをしていただけませんか？個人や仲間うちの活動から一歩踏み出し、愛知岳連の仲間としての輪を広げていただけませんか？皆さんのそうした協力が岳連を活性化し、皆さんの生活にもうるおいを与えることができると思います。

会員各々が岳連に関わってください。そのためには各会の理事の方々のご理解とご協力が必要です。お力添えをお願いいたします。

最後に愛知岳連は会員それぞれ、各会の活動がベースです。皆さんが満足のいく登山やクライミングを行っていただくことが岳連の活性化につながります。今年も皆様方のさらなるご活躍を祈りたいと思います。

Ⅱ第2回県民登山教室・本宮山Ⅱ

読図をやって装備やビバークも学ぶ

今年2回目の県民登山教室は、9月24日(土)豊川・本宮山に於て実践教室を行ない、一般参加者、講師、役員11名が参加しました。

ウォーキングセンターで開会式を行ない、9時に登山開始しました。空には雲が重く垂れこめており、いつ雨が降り出すか：ちよつと心配になりました。地図の簡単な読みかたやトレッキングポールを使った上手な登り方、下り方を

登山教室に参加して

和気あいあいの講習

常任理事
梶山 みどり

第2回県民登山教室が、9月24日(土)本宮山において初心者向け県民登山教室が行われました。曇り空の下、一般参加者6名、指導員1名、役員1名の計8名でしたが、木田指導委員長夫妻が駆け付けて下さり、途中からはオリエンテーリング講師の河合氏も合流して、和気あいあいの講習会となりました。温度・湿度共に異常に高く、大汗をかいて登り、途中からは合羽を着る展開となりましたので山

学びながら山頂を目指しましたが、徐々に雨脚が激しくなってきたため、砥鹿神社奥宮で記念写真を撮った後、帰路につききました。そして、ウォーキングセンターまで戻り、

緊急時対策としてツエルトなど利用したビバーク方法、装備やウェア、それに食料や水分補給などに関するキー・ポイントを学びました。その後閉会式を行ない解散しました。(岩瀬幹生)

頂までは行かず、砥鹿神社奥宮で折り返しました。登山途中ではストック2本を長く



し、腰より後ろに突いて推進力とすることや現在地確認ポイントでの地図の正置、スマホに入ってから来る雨雲情報で雨の降り出し時刻と引き返しポイントの決定など、新しい知識を吸収する事ができ、有意義な一日となりました。

高体連秋期登山講習会

登山技術及び知識の向上を目指す

秋期登山講習会は、高体連主催の新人体育大会に向けた競技力育成を目的として、主催者である名古屋山岳連盟と共に愛知県山岳連盟が共催団体として毎年10月下旬に実施している。今年度は10月29日から30日にかけての二日間、例年通り、新人大会の会場である朝明渓谷・釈迦ヶ岳周辺で実施された。この行事は毎年参加者が増加しており、今年度は参加生徒189名、参加顧問及び講師41名の計230名の参加者を迎えた。

講習会一日目は審査基準、天気図作成・気象、読図机上講習、植生という講習会メニューから生徒が二つ選択し、一コマ75分の講習を二つ受講する形で実施された。また、平行して、顧問対象に愛知県山岳連盟の指導員によるロープワークの講習も実施され

下山してウォーキングセンターで装備についての話があり、岩瀬指導員の超軽量化装備にはいつもながら驚かさず、特に寝袋型レスキューシートはぜひ取り入れたいと思いました。

た。また、夕食後には外でフアイヤーを囲みながらの交流会を行うなど、楽しい講習会となった。二日目は新人大会の縦走コースを各校単位で歩き、全日程を無事終了することができた。当日は二日間とも好天に恵まれ、参加者も満足して帰路につけたと思われる。

この講習会は、新人大会への参加は義務づけられておらず、高校生の登山技術及び知識の向上という性格も持ち合わせている。高校生の安全登山に貢献しつつ登山専門部の行事への参加者の裾野を広げるといふ重要な意味も持っている。ので、来年度以降も是非開催していきたい。

最後に、本講習会への会員の方々のご理解・ご協力に深く感謝申し上げます。

(関谷雅樹)

CLIMBING PARK 東三河初のクライミング施設



<http://climbing-park.com>

☎0532-26-3737

住所:愛知県豊橋市関屋町138番地



モンタニア

住所 愛知県豊橋市萱町5番地 ☎0532-55-0125 <http://www.montania.jp>

名古屋駅前の山用品専門店

駅前アルルス

〒450-0002

名古屋市中村区名駅4-4-10

名古屋クロスコートタワー 1F

TEL 052-565-1417

平成28年度救助技術講習会開催

ロープを使った無積雪期の救助

技術向上の一環として実施されている救助技術講習会が10月22、23日、豊田市鞍ヶ池公園で行われ17人(受講生8人、指導員9人)が参加し、無積雪期の救助、特にロープを使った救助を2日間に亘って行われた。

講習会に参加して

状況に迅速な判断

豊橋山岳会

浦川 陽子

2日間を通して受講者に対して、講師とマンツーマンの手厚いご指導のもと、救助技術講習会が行われました。

本来は、縦走路コースもあったのですが、山岳確保コースと山岳実践コースの2チームに受講生が分かれ、それぞれ講習を受けました。

自己脱出から介助懸垂、背負い懸垂、1/2、1/3、1/5システム、斜張、テールビング、そして、最大のメイソンは今回学んだことを駆使して、受講生全員が交代でリーダー役となり、鞍ヶ池の地形を生かしたシミュレーション

搬送。

リーダーとなった人は状況に応じて、迅速に判断し、的確な指示を出さなくてはなりません。普段、このような場面での状況判断することや、指示を出すことには慣れていないため、交代でリーダーをやることによって、どのように搬送方法を考え、どのように指示を出したら周りが動きやすいか、そして、搬送することの難しさを皆さん感じたとおもいます。

搬送することに加え、要救の全身状態の観察とともに、悪化を最小限にするための対応、そして、何よりもスピードも大切になってきます。

セルフレスキューという言葉や、登山は自己責任という言葉をよく耳にしますが、日頃から一緒に山に入る仲間達と繰り返しトレーニングしないと実践には役立ちません。

また、他の会の方達とも交流をはかれる講習会でもあるので、会の仲間呼びかけを行って、次回はもっとたくさんの方が参加して頂けるとよいなと思います。

印象に残った私の登山

10

偵察山行&聖岳

フェアリーロッククラブ

辻 雅彦

最近では情報をネットを得るため偵察山行がおろそかになってきている、私もそうであった。

この年の冬山は南アルプスの聖岳東尾根とした。クラッシュクルートであるので情報はそれなりにあったが、偵察山行を行った。冬ルートは通れないので、取り付きは確認し、エスケープルートである聖沢から聖平にアプローチをし、赤布は適時付けていった。が元々古い赤布があるところは付けず、この地形は分かるだろうと思うところも省いた。一ヶ所気にかかるころがあったが、50mほど進んでおり、エスケープを使わないうだらうと思っけて付けなかった。

さて本番では、南の南部から積雪は大したことはないと思っけていたが、しっかりあり5日のうち3日間ワカン行動であった。登頂日は風雪となり、聖のピークを越えらトレースは消え、秋には通ら

なかつた尾根筋を歩かねばならなかつた。視界は少しあるが先が見渡せず、苦勞して聖平小屋に入り込んだ。下山は縦走予定であったが、翌日も天候が悪いためエスケープルートで下山とした。ここもトレースなしで、秋の地形を思い出しながら下るが、案の定秋に気にかかつたところルートを見失ってしまった。この箇所は地形図と登山地図が違う箇所であることは分かっていたが、間違えると本来のルートに戻れないと焦ってしまった。あちこち探し回り古い赤布を見つけ安堵した。そのあとも自分で付けた赤布を見つけるとうれしかった。大きく削れたルンゼがルートの真ん中に出てきたとき、秋の記憶はなく、上に巻くのではと思いルートを探したが分からなかつたが、遠く対岸に自分の赤布が見えたときは感激した。この日は夏時間の3倍かかり途中で幕営となった。

偵察山行の重要さは、ルートによると思うが、自分でトレースをつける山行を目指しているときは、読図とともに重要なことだと思っけた。

Renopoint
<http://www.renopoint.jp>
 Original Wear & Goods
 オリジナルウェア・CMウェア (広告掲載)
 カジュアルユニフォーム&グッズ
 デザイン・企画・制作
 お気軽にお問合せ下さい。
 特許出願 GLASS PERCH(グラスパチ)
 株式会社リノポイント 〒491-0835 愛知県一宮市あずら1-5-7
 TEL:0586-58-5021 FAX:0586-58-5022 E-mail: ito@renopoint.jp

うなぎ錦三丁目 いばしょう
いばしょう
 〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目13番22号
 TEL <052> 951-1166 番
 営業時間 午前 11:00~午後 2:30
 午後 4:00~午後 8:00
 定休日 日曜日・第二・第三月曜日